

2日目 (12月22日)

先輩の話を聞いてみよう (3)

この日は、次の3人の先輩たちのお話をうかがいました。

1. 水井高志さん (NPO 法人西東京花の会)
2. 池田干城さん (西原自然公園を育成する会ほか)
3. 青山恭彦さん (きらっとシニア倶楽部ほか)

水井さん、池田さんは、地域での活動が長い方々。青山さんは、はじめてまだ数年の方。それぞれ地域への係り方にも特徴があって、大変興味深かったです。(私の技術レベルの問題から、ワープロと写真がずれるので、一つひとつのファイルにします。)

3. 青山恭彦さん (きらっとシニア倶楽部ほか)

(ア) 会社員時代には、西東京市とは無縁

- 新町に住んでおり、武蔵境から中央線で都心に通うだけで、西東京市に住んではいながら、田無駅も、西武線も、田無タワーも多摩六都科学館もまったく知らなかった。西東京の人たちも何も知らなかった。



(イ) 定年後の過ごし方についての自問自答

- 会社を退職した時感じたのは、自分で自由に使える時間を得たということ。幸運とツキを得るのは人との交流の中からのなのに、まちの人を知らないのはまずい。先ずは自由に使える時間を人を知ることに使おうと考えた。

人探しが現役人生だ

人生足
別離

一期一会

運とツキ

成り行きはまかせ
運はまかせ
運はまかせ

◆退職したとき、感じたこと
会社を離れて、手に入れた自由な時間
毎日の時間は自由に自分で使い方を決められる
人生で最も長いバケーション
遊び心を持ってどこでも毎日楽しく過ごしたい
※働かないで、年金貰って、生活できる。華麗な浪人
※会社を卒業した、また、次の新しい「仕事」を探す
今度は自分のやりたい仕事をする
一生涯でやりたいか 現役とは…
運とツキを呼ぶのは人、人との付き合いから 逆も。

Happy Life = 幸運であること ツイテいること → 人がもたらす **人は宝**

私にとって **変わったと思うこと**

情報・ファッション: 通勤中に収集・観察できた
運動: 満員電車に乗るだけでOKだった

↓

まちの人の話が生活の情報源
自分のまちの屋間の風景が見える
行動範囲が狭くなった 田無 & 境 ~ 吉祥寺
→ Localizationが進んだ
運動を意識して心がけないといけない

Formal → Casual
No neck-tie

環境が変わっただけ
定退は通過点・独立開放記念日だ

- × 定年退職・リタイア
- × セカンドライフ
- × スローライフ
- × 悠々自適
- × 隠居暮らし
- × × reset

生活環境は変化した → 転機到来
才能開花 まだまだ用済みではないぞ

今までと同じスタイルで、暮らす★変えられない

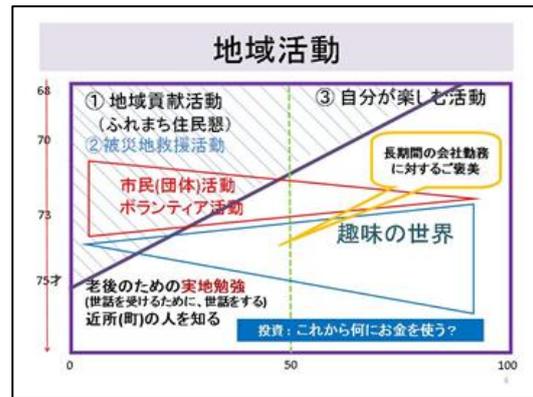
他人がどう評価するか、関係なし★自分は自分
もう会社ではない
人事考課はないよ

- 現役時代は満員電車に乗っているだけで、吊り広告から情報を得られたし、ファッションも観察できた。また、運動にもなった。リタイアして変わったことは、まちの人の話が生活の情報源となり、服装もフォーマルとカジュアルの区別がつかなくなった。運動も心がけないといけなくなった。
- 自分は、リタイアとか定年・退職という言葉が嫌い。セカンドライフもスローライフも、悠々自適も隠居暮らしも嫌い。リセットするも嫌い。定年は通過点、卒業である。卒業なら、次へ進み、何か新しいことをするのは当然。スローではなく、スピード感を持って。自分は、周りに合わせてきた融合派だった、今度は本当に自分のやりたいことをやりたい。
- この講座もそうだが、世の中は、教え魔だらけ、定年後の過ごし方なんかを教えてもらう必要はない、自分で決める。もう 70 歳だぞ。自立だ。
- 自分は、現在「ふれまち」など社協の関係のことにも首を突っ込んでいますが、これは、将来、自分がお世話になる時が来るだろうと思って勉強のつもり。うっかりし

していると、どんどん手伝わされる。もっと、自分が楽しいと思うこと（趣味の世界）に投資していきたい。

ご指導は もう たくさん !!

これからの…… ~~考え方・生き方指南~~
 停退後の……
 老後の…… ~~没個性→個性を回復~~ **How to もの**
 — 世の中には教え魔がたくさんいる —
 まだ、教えてもらわにゃ 判らないの？
 教えてもらうのは、もう、けっこう **もう60 数年も**
 これからは 自分で考える **本音で**
 自分の好きな方法で、好きなことをやる



- 今、自分が楽しいと思うことには、いろいろある。昔の友人との懐古話も好きだ（過去は振り返ると良く言われるが楽しい）。でも、今、新しい人との出会いが楽しい。会社時代の人は皆同じ方向を向いているが、地域の人は皆向きがバラバラ、まちは人財の宝庫。そういえば、植木職人になった同期は、楽しそうに話している。虚勢・虚飾の人生ではなく、素直に生きたい。

THINK

日々を楽しむ 生きていくことを実感
 好きなこと 昔からの友人と懐古
 新しい人と出会い
自分が楽しい!
 得意なこと スリリングな生き方 お金になる
 High Risk, No Return

日々を楽しむ 生きていくことを実感
 好きなこと 古い友人と懐古
新しい人との出会い
自分が楽しい!
 得意なこと スリリングな生き方 お金になる
 High Risk, No Return

人が死ぬ前に後悔すること

人は死ぬと判ったら過去を振り返り始める。そして後悔する。

- 1 自分に正直に生きればよかった
- 2 あれほど働かねばよかった
- 3 自分の気持ちを率直に伝える勇気あればよかった
- 4 もっと友だち付き合いしておけばよかった
- 5 もっと幸せな人生を送ればよかった

「もっとお金を儲ければよかった」という人は一人もいない

(ウ) そう思ってこれまでやってきたこと

- 68歳で会社を卒業した直後は、田無図書館で保谷市史や田無市史を読み漁り、雑学大学の講義を聴講し、田無カレッジに入学した。しかし、一人で勉強するだけで、そこからは新しい人とのつながりはできなかった。

HISTORY (1) ～人を求めて～

- ・ H22(2010) 3月 会社卒業 (68才) → 浪人
 田無図書館で保谷市史、田無市史読み漁り
 東京雑学大学の講義を聴講 — 座学 —
 Facebook、Twitter登録、Blogを開始
- ・ H22(2010)7月～H23.3 田無カレッジ入学 — 座学 —
- ・ H23(2011)9月 田無ソーシャルメディア研究会 入会
 (東伏見)コミュニティ・カフェ “仙人の家”
- ・ H23(2011)9月 多摩CBネットワーク 入会 ML→FB
 イベントの参加
 小平 ジャーナリスト楽校
 地元だいき講座
 地元からの情報発信術
 会場: 嘉悦大学、一橋大学、津田塾大学、首都大学東京、東大(本郷)

HISTORY (2) ～人を求めて～

- ・ H23(2011) 6月 田無スマイル大学地域イノベータ養成(連続)講座
 「でかけよう。どっと。こむ」ポータルの立ち上げ
 “仙人の家”を繁盛させるプロジェクト
- ・ H23(2011).11月 きらっとシニア倶楽部入会
- ・ H23(2011).11月 ふれあいのまちづくり活動(社協) ほにほに
- ・ H24(2012)5月 写仏会に参加 宝樹院
- ・ H24(2012).6月 VoVIT普及活動サポーター
- ・ H24(2012) 9月 東京雑学大学スタッフ
- ・ H24(2012).9月 市交通計画策定委員会委員
 (西東京を知る会) 御門訴事件、田無空襲と中島飛行機武蔵工場、市内古道調査、市内寺社巡り

名刺の数 : 0人 → 300人

- その後、田無ソーシャルメディア研究会に入会したことが運とツキを呼んだ。仙人の家でのパーティやイベントで、更に、多摩CBネットワークやジャーナリスト楽

校などにも参加して知り合いが増えた。田無スマイル大学の地域イノベーター養成講座を受講して更に多くの人と知り合った。「でかけようどっとこむ」というポータルサイトをここで立ち上げた。これは、多摩地域の高齢者の金融資産は3兆円もあるというのに地元にはあまり使われていない。そこで、お金を使ってもらうためにお出かけ情報を提供するサイトを作ったのだが、まだ不十分。

- その後、きらっとシニア倶楽部に入会し、ミニコミ紙を発行するために、いろいろなまちの人に会ったり、書物を調べたりして記事を書いているが、これは自分の趣味にもあっていて、気に入っている。こうしてもらった名刺の数は0から300枚くらいになった。
- そのほか、高尾山への山登りや写仏会にも参加するなどしていた。無心で仏様の絵を写すのは、とても心地良いことを知った。



今、やってることは、

大学のクラス委員 2015、卒業後50年行事
元の会社の東京地区同期会の万年幹事
栗が丘自治会
きらっとシニア倶楽部（ミニコミ紙作り）
東京雑学大学 毎週木曜日の講座、~~サテライト学習（生涯学習）~~
ふれあいのまちづくり活動（社協 住民懇談会の開催）
deakeyo.com 更新（お出かけ案内）
関係しているイベント、活動団体のHomePage作成・更新
市の交通計画策定委員会市民委員
仙人の家（高齢者健康問題に関するセミナー企画）
その他 スポットの催しに参加
[今後は縮小へ](#)

私の地域参加の目的・理由・動機

- ・有名になりたい＝自分の存在を知らせたい
市会議員・都会議員になりたい
(65歳からの活動では手遅れか、そんなことはない 支持者作り)
- ・町に役に立ちたい
感謝されたい 余力があるから働きたい
埋もれ木のまま死にたくない
- ・自分の健康のため ポケ防止
↳ 健康など自分で管理できるものではないぞ
- ・気を紛らわすため 気分転換
- ・まちを知る まちの人を知る 知らないことを知る

私の場合

いま、果たしてサンデー毎日が

楽しい

サンデー毎日にあこがれていたのに
ブルーサタデー、ブルーサンデーでなことは？

サンデーって何だったのか
ゴルフに行く日＝好きなことをする日だった

- 今いろいろなことをやりすぎていて、今後は縮小しようと思っている。地域参加の理由は、人によって様々だろうが、自分は、「まちの人を知りたい、まちの人を知ってまちを知りたい、まちの知らないことを知る」であった。しかし、お手伝いをしすぎていて、自分は本当にワクワクしているか、楽しいかと自問自答してしまう。不満というより、自分の思ったやりたいことができなくなっている焦燥感だ。

(ノム)

自分のやりたいことができなくなった (宝樹院での写仏を止めた)
 市民まつり、NPO市民フェスティバルに参加・出店の準備
 色々なイベントがあってその都度お手伝い 秋は集中
 自分の老後のための勉強と思ったことが、高齢者との付き合いに変わった。

身辺整理(断捨離)が進まない (×終活) 不満ではなく、焦燥感
 読書TV時間の減少 ← PCとの面着時間の急増
 CDなどを聴く時間は増えた カウントダウン人生
 土日にイベントが多い

お付き合い方法は現役時代と同じ、無責任は許されない。
 中途半端は信用を失う。会社も社会も同じ。
 楽しんでいるかどうか → ワクワク感を持って家を出ているか

一生青春

増えたもの

- ・ 知り合いが増えた
- ・ 市内が見え始めた
- ・ PCとの面着時間
- ・ 市内で過ごす時間
- ・ 近隣のまちを知った

減ったもの

- ・ 本屋めぐり
- ・ 読書
- ・ 囲碁
- ・ 山登り、ハイキング
- ・ 都心に出かける時間

財産は増えた(得)
 幸福度は?? = 青春実感度は??
 現役度は??

あまりクローズアップされない 卒業後の就職・起業

- ・ 出家 住職
- ・ 植木職人 庭師
- ・ 水道工事屋
- ・ 包丁研ぎ屋
- ・ 便利屋(買物支援・お掃除・ごみ処理等)
- ・ パソコン教室、etc

福祉系(連携 子育て 継続 見守り 防災 ...)

} まちで喜ばれるしごと
やりがい・生きがい

腕・技術のある人は勝手に始めるが、
 まちに出てやれる程の特技を持っていない人
 ↳ 社協や「おとば」が仲介のお節介を焼いてくる

(エ) 地域活動について

- 地域での過ごし方は会社とは違うが、しかし、趣味のお遊びではなく、目的を掲げて継続的に活動するためには、会社社会と同じようにリーダーシップや組織運営は必要であると思う。目的に向かう情熱が一致していないと、人を束ねることは会社社会以上に難しいことだと最近感じている。

地域イノベーション よりよい町づくり

課題を見つけ出す

課題実現への3つのポイント
住みやすいまち作り イノベーター

主観的な見立てを
客観的に展開

関係者へ動機づけ

会社と違う地域での過ごし方

- ・ 例えば、この講座の場は会社とは違う
- ・ 各自個性豊かに過ごせばよい
- ・ 黙ってじっと聞いている必要はない
- ・ 感動したら体で表現 喜怒哀楽を自由に表現したらよい
- ・ 周りに合わせる必要はない 本音>建前 人情>義理
- ・ 軽い繋がり、深入りしないことが原則、さっぱり、あっさり
- ・ 従属関係は全くない 作ってはいけない 対等 割り切り
- ・ 自分らしさ 埋没しない 個性豊かに
- ・ 自分の尊厳第一、得心第二、犠牲打選手になる必要はない
- ・ 嫌われたらフェードアウト (適していないことを自覚すること)
- ・ まちは人手が足りない⇒活動している人は人手(動いてくれる人)が欲しい 需要>供給 自分の気持ちとのマッチング

死ぬ前に思ふ5つのことを思い起こせ

[活動] まちと会社

基本形 (1) 集めて
(2) 束ねて
(3) 向かわせる モチベーション

リーダー 組織 組織運営
 ゆるい関係しかし 考え方・方向は固く一致 プレない
 ゆるくても誰かが強固なリーダー 継続性

▼手芸教室・絵画教室・コーラス・囲碁など趣味の活動
 ▼NPO法人活動・市民団体活動 ▼2つは違う

孤高の人はダメか?

勝海舟

共感性
感応性
同期性
変温性 恒温性

處自超然
處他蕩然
有事嶄然
無事澄然
得意淡然
失意悠然

自覚性
敏捷性
同調性
スピード感
率先行動
行動力

漢字x



交流会風景

